

将来構想の策定

特別な教育的支援が必要な子供や保護者を社会全体で支え、一人一人が輝き社会で活躍できるよう、富山県における特別支援教育が目指す姿とその実現に向けた取組について整理するもの。概ね5年間で実現を目指すものとして策定。特別支援教育の振興をととして、ウェルビーイングの高い富山を目指す。

富山県の特別支援教育における現状と課題

富山県の現状

- ・ 特別な教育的支援が必要な子供の増加
- ・ 子供の障害の多様化
- ・ ICT環境の変化や新型コロナウイルス感染症の蔓延など

課題

- ・ 障害のある子供の学びの場の整備
- ・ 関係者の連携強化
- ・ 教員の専門性向上
- ・ ICT等を活用した指導の充実
- ・ 就労支援の充実
- ・ 施設設備等、教育環境の整備

将来構想における6つの視点と「目指す姿」

I 共生社会の実現に向けた連続性のある多様な学びの場の整備

- ・ 共生社会の実現に向けた特別支援教育の理解啓発
- ・ 教育的ニーズに最も的確に応える多様な学びの場の整備・充実
- ・ 児童生徒等の状況に応じた、全ての学校での体制整備

II 学校、家庭、地域、医療・福祉・保健・労働等の関係機関の連携強化

- ・ 関係者の支援情報の共有と連携した支援の充実
- ・ 就学前から卒業後までの適切な支援の引き継ぎ
- ・ 地域と連携した、キャリア教育や生涯学習の充実

III 多様な教育的ニーズに対応できる教員の専門性向上

- ・ 教員の経験や役割に応じた、十分な専門性の担保
- ・ 専門家の活用による指導力の向上
- ・ 専門性向上のための、調査・研究や研修体制の充実

IV ICTや専門家の活用等による指導の充実

- ・ 合理的配慮の提供や安全で効果的な指導の実施
- ・ 個別最適な学びのための指導や指導の計画・評価
- ・ 一人一人の障害の状態に応じた指導の実施

V 企業と学校、家庭が一体となった就労支援

- ・ 希望や進路、社会状況を踏まえた教育課程・職業実習の改善
- ・ 多様な就労による、一人一人のやりがいと活躍の場の創出
- ・ 高等特別支援学校を中心とした、就労支援体制の充実

VI 特別支援学校の施設設備等、教育環境の整備

- ・ 安全・安心のための施設設備等の整備
- ・ 個別最適な学びのための施設設備の整備
- ・ 新しい技術の活用による指導の質と業務の効率の向上

子供たちからの意見

「いろいろなことを学べること、ほめられることが、うれしい」、「友達と一緒にいること、遊ぶこと、話すこと、勉強することが、楽しい」

「美術での水彩画が楽しくて、家でもやってみた」、「習った事柄を生かした勉強が、進学先でとても役に立った」

「個別学習で、分かるように教えてもらえることが、楽しい」、「生活していくため、できることを増やせるように教えてほしい」

「タブレット端末を使った意見交換が、おもしろかった」、「視線入力を使ってパソコンで勉強したい」

「人の役に立つ仕事をしたい」、「自分にあった仕事をしたい」、「コミュニケーションの取りやすい会社で働きたい」

「校舎をきれいにしてほしい」、「落ち着くための部屋があればよい」、「先生と、もっと運動したり、遊んだり、話したい」

R4年度の取組

⑧特別支援学級・通級指導教室の増設 特別支援学級 24学級増、通級指導教室 14教室増

⑧特別支援学校医療的ケア体制整備事業（5,785万円）
・ 配置看護師の4名増員

⑧とやまの特別支援教育強化充実事業（1,590万円）

- ⑨特別支援教育体制整備支援事業（うち、220万円）
 - ・ 特別支援教育の推進体制整備に向けた研修会の実施
 - ・ 普及・啓発資料の作成
 - ・ 各市町村、小中学校ごとの体制整備プランの作成支援
- ・ 手話及び手話言語条例の普及・啓発（手話使用者・通訳者の学校派遣）
- ・ 特別支援教育に関するワンチームとやま連携会議の開催
- ・ 家庭・教育・福祉のトライアングル連携会議の開催
- ・ オンデマンドによる研修コンテンツの作成・活用

⑨特別支援教育ICT活用パイロット事業（うち、400万円）

- ・ 分身ロボットによる遠隔教育の導入
- ・ AR、VRを活用した教材の導入
- ・ 医療的ケア手技のオンライン助言

⑧特別支援学校就労応援事業（756万円）

- ・ 企業のための学校見学会の拡充
- ・ 企業での職場見学の拡充
- ・ 小学部6年生の仕事体験の実施

高岡支援学校小学部棟増築事業（実施設計等）（1億4,400万円）

- ・ 小学部の教室不足解消及び環境改善のため、新たに小学部棟を整備

※下線部は、新規項目